

私たちの一票

第8号

投票で 豊かな四日市 きずこうよ

平成24年4月26日発行
 四日市市明るい選挙推進協議会
 (諏訪町1番5号・市選挙管理委員会事務局内)



成人式での啓発に集まつたみなさん（四日市市文化会館）

若年層への啓発を



明るい選挙推進協議会会长 高橋 佳子

四日市市明るい選挙推進協議会も50周年を目前にし、今までの啓発のあり方を見直しする時期に来たと思います。時代の流れ、数年前の政権交代等により、明るい選挙推進事業も行政刷新会議で事業仕分けの対象となりました。選挙啓発事業には改革が求められており、各市町村で独自の啓発に移りつつあります。

幸い当市は、以前より試行錯誤しながら独自の啓発を開拓してきました。現在では地域の行事等に密着しつつ、選挙啓発学生会「ツナガリ」と連携し、大学祭や大きなイベントにおける若年層への呼びかけにも重点を置いて安定した活動を続けています。

「明推協」の目標はあくまで「三ない運動（贈らない、求めない、受け取らない）」が基本ですので、委員の皆さんには趣旨をご理解いただき公正・中立な立場を貫いていただきたいと願っています。

昨年は、日本にとって大きな試練の年で、当たり前だった日常生活が覆され、大切なものは何か、家族、社会、地域のつながり等、思考と反省の年だったと思います。

今年は、市長選挙があります。委員の皆さんには、平素の地区活動にご尽力をいただき感謝申し上げ、今後も益々のご活躍を宜しくお願ひ申し上げます。



伊坂ダムでの啓発風景

企画委員会 & 親睦旅行

企画委員会委員長 真川 勇

四日市市明推協は、昭和38年2月8日に選挙が公明かつ適正に行われるよう設立されました。各小学校区1名の委員で始まり、現在では24地区131名で、主に投票率の向上に向けた活動を展開しています。

活動を活発にするには委員の交流が必要であり、過去には県外の先進市へ啓発活動を学ぶため視察を行つてまいりました。また、バスの中では選挙に関するクイズ等で委員の親交を深めてまいりました。予算の削減等で視察研修は中止になりましたが、委員から「親睦を深めるための旅行を計画しては」との意見がありました。

そこで、企画委員会が中心となり平成21年から自費参加ではありますが、日帰りの親睦旅行を計画・実施し、多くの方に参加をいただき各委員の絆を深めています。本年は市長選挙が予定されていることから、11月から5月頃に日程を変更し実施する予定ですので、各地区1名以上の参加をお願いします。

企画委員会では、現在活動内容等について全般的な見直しを検討しております。各地区会議のなかでも活発に議論をいただき、新たな取り組みの提言をよろしくお願いします。

指導者研修会に参加して

橋北地区 山本 江里子

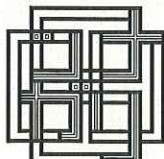
平成23年11月16日(水)四日市市文化会館第3ホールに於いて、三重県明るい選挙推進連合会三泗支会指導者研修会が、小林慶太郎四日市大学総合政策部准教授を講師にお招きして開催され、98名(うち四日市市69名)が参加いたしました。研修の内容は、『一票の格差と選挙制度改革』の演題で1、はじめに～一票の格差とは～ 2、最高裁大法廷の判決 3、小選挙区と比例代表制 4、格差是正に向けた動き 5、様々な改革案(中選挙区制復活、併用制、連



熱心に聞く委員たち

用制など)をわかりやすく講演して頂き、むすびにかえて「選挙は民主主義の根幹、二院制の下で衆参両院にそれぞれどういう役割を期待し、そのためにどんな制度にしていくのか、党利党略に捉われない大局的な見地からの選挙制度改革の議論を期待したい」最後に参加者の質問に答えて頂き、研修会は終了しました。

今回の研修会に参加して、有権者の皆さんに一票の大切さを知って頂き、選挙では棄権をすることなく投票してもらえるように、今後も明推協の活動に取り組んで行きたいと思いました。



「ツナガリ」活動報告とメンバー募集について



選挙啓発学生会「ツナガリ」会長 谷 祐貴

私たち四日市選挙啓発学生会は、去年12月を持ちまして結成1年になりました。去年行った主な活動としましては、4月に行われました四日市市議会議員選挙において、近鉄四日市駅にあるふれあいモールで明るい選挙推進協議会の方々と一緒にティッシュを配布したり、10月には四日市大学の大学祭にて模擬投票を行うなど、明るい選挙推進協議会の方々に協力していただきました。12月には、津市で行われた青年選挙講座「グリーン・エイジ・ミーティング」に参加し活動発表を行い、「選挙フォーラム」と題して横浜で活動をするイコットさん、静岡で活動するYECさんを四日市に招き、私たちツナガリ主催での意見交換会



楽しい「選挙フォーラム」でのひと時

を行いました。そこではあまり選挙というキーワードに縛られず、楽しくお話をさせていただきました。

しかし、私たちには欠点があります。それはメンバーが少ないということです。随時メンバー募集を行っておりますので興味のある人は、ぜひ一緒に活動しましょう。

私たちの活動をテレビやラジオ、新聞などのメディアにも取り上げていただきましたし、今回もこのような機関紙に載せていただいて有り難く感じております。

これからも、頑張っていこうと思います。

※左上のツナガリロゴマークは、固くツナガるというイメージから、鎖と文字を組み合わせて学生が自主製作したものです。

《地区活動の紹介》

地域での明るい選挙啓発活動

八郷地区 伊藤 征雄

11月20日八郷フェスタin伊坂ダム会場で、八郷明推協が主体で、センター職員の協力を得て若者の投票率向上を目指して、初めての試みである模擬投票を実施しました。

私たちはそろいの法被を着て、のぼり掲揚・啓発物品の配布をしながら、選挙体験への呼び込みをしました。

選挙ながら投票体験は野外で楽しく行うことができました。たとえそれが擬似的なものであるとしても実際に体験することを通じて政治や選挙との距離を縮める事が出来たと思います。



伊坂ダムでの青空模擬投票所



朝明中の模擬投票授業

更に、朝明中学校3年生を対象とした社会科授業で選挙制度学習を投票箱・投票記載台を使って模擬投票の体験を行いました。

今後は、啓発活動に模擬投票をいろんな場面、いろんな場所へ取り入れて選挙、投票への関心を高めることが大切だと考えます。



近鉄四日市駅前での啓発

明推協の活動に参加してみて

水沢地区 田川 壽一

明るい選挙推進協議会（明推協）は、総務省、各自治体の選挙管理委員会と連携して活動する民間団体で、不正のないきれいな選挙と有権者全員の投票参加の推進を大きな柱として、明るい選挙の推進を呼びかけています。成果が得られるように知恵をしづら活動に励んでいますが、目を見張るような成果は簡単には挙げられません。

そこで時間をかけて、世の中の仕組みが理解できる年齢、中学・高校生を対象にした活動も重要な方向になってくるのではないかでしょうか。

また、どのような活動をするにも時間と経費が必要不可欠であり、将来にわたって民主的公平な社会を維持・発展させるために、何を差し置いてでもしなければならないことは、我々大人全体の行動に掛かっている責任と義務であり、社会のリーダーである政治の資質が何よりも問われる時代を感じています。



【事務局からのお願い】

明るい選挙推進協議会は、地域住民有志のボランティア活動に支えられ、選挙の浄化、投票参加の促進、政治意識の向上の3つを大きな目標として、これまでイベントを活用した啓発、研修会、講演会等の開催、各種選挙の管理執行への協力等様々な取り組みを行ってきました。

しかしながら、時代の推移とともに、参加者は徐々に固定化、高齢化、活動のマンネリ化、財政上の制約等から行政による活動支援が低下する等の課題を抱えるようになり、国において常時啓発事業のあり方についての報告書が示されました。

この様なことから本年度は、事務局が各地区会議に出向き、今後の啓発事業等のあり方について協議・検討をしたいと考えておりますので、皆さまのご意見・アイディアをよろしくお願いします。



成人式会場での啓発



2年間よろしくお願いします

平成24年度委員名簿

平成24年4月1日現在

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
富洲原	鈴木 稔	常磐	田中しづ子	塩浜	森 法子	桜	川北 真輔	下野	須原 皓	中部	須賀 亮一
	生川 玉雄		齋藤 勝子	佐藤志げ子	池村 一三		宮下 博一	官下 博一	筒井美知子		水谷 謙之
	伊藤 盛恵		藤原ゆき子	前田 祐子	伊藤 末次		中島 幹雄	大矢	林 純子		豊田百合子
	天野 茂利	日永	塚本 和泉	萩 伸元	藤谷 昌久	大矢知	渡邊 治	中村須美子	三宅 恵子	三日市 存	三日市 存
	名倉 忠昭		鈴木 正明	北尾 喜子	服部 善男		林 純子	坂口 一昭	三輪 真純		坂口 一昭
	山本 力		小林 幸子	水野 幸子	中島 幹雄		高橋 久子	渡邊 柳一	高橋 久子		福田 知子
富田	高橋 佳子	永	寺本都美子	大川 陽子	本田 榮	三重	山田眞美子	森下 尚子	山田眞美子	海藏	森下 尚子
	早川多津子		伊藤 明美	辻 丈和	服部 健治		今村 亘	大塚 義雄	今村 亘		大塚 義雄
	林 玄雄	四郷	廣森 義招	北川 幸男	中島 一泰	河原田	大平さなえ	笹岡 悅三	大平さなえ	河原田	笹岡 悅三
	渡邊 勇子		坂下 悅子	小林 三弘	國武 京子		高橋 艶子	山本江里子	高橋 艶子		山本江里子
	林 正雄		古川とし子	腰地 孝	白鳥 和明	県	田中 啓之	塚脇 大仁	田中 啓之	塚脇 大仁	塚脇 大仁
	荒木 晓美		加藤喜代子	鈴木 映子	神代 正規		北谷 勝彦	服部 富子	北谷 勝彦		服部 富子
	渡邊佳代子		館 法生	駒田 明美	水谷 秀子		田中貴美子	諸岡 彌	田中貴美子		諸岡 彌
羽津	久志本正彦	内	平井 好章	長谷川朝美	赤井眞知子	水沢	北谷 勝彦	新屋 正紀	新屋 正紀	水沢	新屋 正紀
	山下 英		新開 昇	川村きさ代	矢田 惠美		田中貴美子	家城 進	家城 進		家城 進
	尾崎久美子	内	田中 鈴子	井村 義則	山本 碩幸		鎌田ひとみ	川合 弘吉	川合 弘吉		川合 弘吉
	山田 明美		光本 哲夫	加藤 正史	伊藤 征雄	八郷	清水 智子	藤田 倫子	藤田 倫子		藤田 倫子
	八巻 敬司		浜名 京子	川森 優	石田 隆子		廣田 俊隆	中村 妙子	中村 妙子		中村 妙子
	安田 久子		田中 昌枝	眞川 勇	進士 弘	保々	齋藤さち子				
	仲谷 雄司		坂上 茂子	加藤 榮一	山尾 和子		伊藤 正子				
常磐	谷崎 滋夫	塩浜	今村 明義	渡邊 敏弘	日置 得祐	下野	山川 憲夫				
常磐	別所 春代	塩浜	中村 勝之	渡邊佳世子	豊田 隆	豊田 隆	相馬 みね				



長い間ありがとうございました

平成23年度に退任
された方

広報委員会

委員長 萩 伸元 (小山田)

藤井 勇、棚橋 翠(富洲原)、寺村 喜久男、森 香英子(羽津)、久保田 恰、田中 資郎、鏡 澄子、田中 喜代子(日永)、後藤 良子(四郷)、土井 靖子、堀 よしみ、水谷 隆(内部)、柏谷 恵子、伊藤 恵子(塩浜)、中村 實、辻 俊治(小山田)、廣田 加奈子(川島)、島原 正美、新田 すみ子、清水 克二、田中 明美(神前)、服部 幸一郎、坂井 正紀(桜)、野田 雅春、浦村 享、熊澤 淳子、立石 清視(三重)、新山 みゆき(県)、宮島 久(八郷)、田川 壽一、上村 れい子、田中 夏子(水沢)、堀 春代(保々)、森 繁春(海藏)

委員 久保田 恰(日永) 坂下 悅子(四郷) 伊藤 征雄(八郷) 田川 壽一(水沢) 山田 真美子(河原田)

あとがき

- みなさまや選管書記の絶大なるご協力で、機関紙「私たちの一票」も第8号となりました。心から幾重にもお礼申します。
- 本年は、委員の改選期。長い間お世話になった方が去られ、一抹のさびしさを感じますが、その分、新委員に期待して、お互いに力を合わせ、高橋会長を先頭に、明推協をもり上げていこうでは、ありませんか。
- 真川企画委員長の発案でできた日帰り実費親睦旅行も4回目となります。毎年大好評で今から楽しみです。
- 本年は、四日市市長選挙があります。12月23日が任期満了日。明推協が一丸となって、投票率アップにがんばっていただきたいと思います。